

第 10 回地区庶務担当理事連絡協議会

△松井副会長挨拶

松井副会長は、3月14日に行われた第193回府医臨時代議員会での代表質問にふれ、新しい医療事故調査制度に関する厚労省の検討会の報告書（3月20日公表）について、府医では、従前から専門医会・両大学・病院・病院協会の協力を基に、有事の際は適切な専門家を調査委員として派遣できるような仕組み作りを検討中していると説明した。法令の施行が本年の10月であり、早急な検討が必要であるとしつつも、協議を重ねてしっかりとした組織とする意向を示し、地区への協力を求めた。

また、3月18日に示された検討中の「地域医療構想ガイドライン」が示されたことを報告。地域医療構想は本来、「高度急性期、急性期、回復期、慢性期」という四つの機能のそれぞれ適切な病床数を10年先に決めようということからスタートしたはずだったが、今回のガイドラインでは、慢性期の病院が大幅に削減することが示されている。このことを19日に行われた日医担当理事連絡協議会で、城守理事が日医に鋭く指摘したことを報告した。これに対し、日医は、病床を削減するための制度でなく、足りない病床を補うための制度であると回答したとし、地域医療構想が厚労省に丸め込まれる形で進むのではないかとの危機感を示した。府医としては、しっかりと情報提供しながら、各地区でよりよい医療提供体制が維持できるようにしていきたいとの意向を示し、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について（城守理事）

2月下旬から3月中旬にかけての社会・医療保険状況について、7対1一般病棟入院基本料の届出病床数の動向、地域医療構想策定ガイドラインの話題を中心に説明した。

2. 京都市における平成27年度定期予防接種について（藤田理事）

平成27年度に京都市が実施する定期予防接種に係る改正について、①京都市民が府外の市町村で子どもの定期接種料を受ける場合の接種料金について、有料で接種された場合は京都市で定める接種料金を上限として、償還払いによる助成が開始されたこと、②京都市民以外の府外よりの子どもの定期接種料金は全額実費を徴収すること、③「予防接種券」の保護者印が不要になること、④水痘の定期接種対象者、⑤3種混合ワクチン（DPT）の入手方法の5点について説明した。（医報4月1日号参照）

3. 京都府・京都市における風しん抗体検査、京都市における風しん予防接種（任意）の平成27年度継続について（藤田理事）

平成27年度も、京都府・京都市の風しん抗体検査の公費負担および京都市風しん予防接種の一部公費負担が引続き行われ、府・市の公費負担の方式は、前年度と同じであることを報告した。

また、京都府・京都市の風しん抗体検査は無料であるが、京都市風しん予防接種の自己負担額は3,500円である旨を補足した。（医報3月15日号参照）。

4. 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンターの設置について（関理事）

平成27年4月より、京都府医師会館3階にて創設される「京都府医師会在宅医療・地域包

括ケアサポートセンター」について説明した。

目的としては、地区医や京都府地域包括ケア推進機構等、関連医療機関との連携をより発展させるためであるとし、ホームページを充実させ、在宅医療や地域包括ケアに関する情報を会員・関係者・府民への情報提供を行い、相談・研修・啓発・在宅医療推進事業を行っていくと説明した。

在宅医療推進事業として、「京都在宅医療戦略会議」を開催し、在宅医療推進に必要な地域分析、地域研究、共同事業等を検討・実施し、地区医師会と府医が連携して、在宅医療および地域包括ケアに必要な事業を実施していきたいとの抱負を述べた。

5. 平成 27 年度 JMAT 京都研修会の取り組みについて（武田理事）

研修Ⅰ 復習研修

テーマ「トリアージ、救護所」

と き 5月23日（土）午後1時30分～5時30分

ところ 京都府医師会館

と き 6月20日（土）午後1時30分～5時30分

ところ 舞鶴メディカルセンター

研修Ⅱ 新規研修

テーマ「心のケア」

と き 9、10月頃（予定）

研修Ⅲ 産業医単位取得研修

テーマ「就労時に災害発生した際の産業医の役割（仮）」

と き 平成28年1、2月頃（予定）

平成27年度 JMAT 京都研修会の予定について、上記のとおり紹介し、積極的な参加と JMAT 京都への登録も併せて依頼した。

6. 医療安全シンポジウムについて（大坪理事）

と き 4月11日（土）午後2時～4時30分

と ころ 京都府医師会館 3階310会議室

テ ー マ 「チーム医療 ～私たちもチームの一員」

①患者相談窓口を例に患者視点で考える

②進行がんの対応例

上記内容にて開催することを報告した。

医総会のテーマの一つである「チーム医療」を取り上げ、8名のパネリストを迎え、座長を取り囲む形式にて開催するとして、多数の参加を呼びかけた。

7. 第29回日本医学会総会2015 関西一般公開展示について（小野理事）

4月10日より、医総会の学術展示や学術講演が始まるにあたり、2万人の事前登録目標に対し、事前登録締切日の3月24日時点で、学生など無料の事前登録者数を併せて、2万350名であったことを報告。多大なる協力に改めて感謝の意を示すとともに、当日の出席も含めて最後まで協力を依頼した。

また、既に開催されている京都大学総合博物館での「医学史展」や京都国際漫画ミュージアムでの「医師たちのブラックジャック展」といった医総会関連行事の他、3月28日からは一般公開展示（未来医 XPO' 15）が神戸で開催されることを報告した。

さらに、京都駅ビルを中心に「医総会 WEEK」イベントとして、多様な内容の市民参加イベントが予定されていることを紹介し、空きがあれば当日参加も可能であるため、積極的な参加を依頼した。

8. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

4月に予定している府医学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。